## 神教をあきた

### 所報 あきた 115号

平成28年9月15日発行

発行所 曹洞宗秋田県宗務所 発行責任者 越 姓 女 怡

発行責任者 越姓 玄悦 電010-0812 秋田市泉三嶽根15-18

T E L (018)868 – 6871 F A X (018)868 – 6872 http://soto-akita.com info@soto-akita.com

題字 能代市倫勝寺 山田晃一 写真 長野県養泰寺 内藤真彦



- ○平成27年度事業報告・収支決算報告
- ○特派布教師・梅花特派師範からのお便り
- ○全国奉詠大会・全県奉詠大会
- ○宗務所ネット法話ほか

### 通常所会(決算)



















# 二年目の秋を迎えて

# 秋田県宗務所 所長 越一姓 玄 悦

過ごしのことと拝察申しあげます。御寺院様におかれましては益々御健勝にてお加わったかのような夏となりましたが、管内加わったかのような夏となりましたが、管内がき返り、地球の裏側の熱さが連日の猛暑に連日の混乱など歓迎されない話題が先行したリオの混乱など歓迎されない話題が先行したリオ

開幕までは治安の悪さや施設の遅れ、

内政

七月二十九日に開催されました宗務所会にと、提案致しました案件すべてが満場一致にと、提案致しました案件すべてが満場一致において、参与、所会議員諸老師の御出席のも

ば、梅花講が六十周年の節目を迎え、関係各厳かに営まれました。宗務所管内に目を移せ六五○回大遠忌を迎え、十月には正当法会がいる。対している。

す。 覧いただきたく存じますが、反省すべき点や て、 う役職員一 す。県内御寺院様の御理解と御協力に感謝申 告の詳細につきましては、 招きして公開講座を開催致しました。 位の御協力と御尽力により記念奉詠大会を盛 しあげ、 検討を要する点など多々あったことと存じま 所・禅センター設立二十五周年記念事業とし 大に開催することができました。秋には宗務 花園大学教授、佐々木閑先生を講師にお 昨年度の経験を本年度に生かせるよ 同職務に精励する所存でございま 掲載ページをご 事業報

予算設定の際の見通しが甘かったのではない償につきましては予算額を超過致しました。費用弁できましたが、歳出の部の人件費、費用弁

ので、何卒御海容のほど御願い申しおりますので、何卒御海容のほど御願い申し年度は予算に従った執行に努めたいと思っては費用弁償を増額させていただきました。本が、これを踏まえまして、三月の予算所会で

かという謗りは免れないところでございます

が、 と御協力を心からお願い申しあげます。 課題も顕在化しつつあり、寺院間の情報共有 ど複雑な要素が絡み合う中で、看過できない るところでございますので、 の必要性を感じているところでございます。 少や高齢化に加え、 の変化はその速度を増しております。 族葬が増加傾向にあり、 では特派布教師御二方にも参加していただ ておりますが、五月十一日開催の布教協議会 しました。「お坊さん便」 新しい年度に入り既に半年が過ぎようとし 九月以降にも重要な事業が控えております 葬祭の現状についての意見交換の場と致 充実したものになるよう準備を進めて 地域共同体意識の薄れな 葬儀を取り巻く環境 が話題を集め、 変わらぬ御理解 人口減



## 夏が過ぎ去り

# 所会副議長藤子原 徳義

きでいた世代様の一人です。 までいた世代様の一人です。 世代位牌に 想像たくましく偲んでみました。世代位牌に が来當寺八世大雄万光大和尚禅師、文化 前永平當寺八世大雄万光大和尚禅師、文化 前永平當寺八世大雄万光大和尚禅師、文化

月六日 微笑ましい発見です。そして、年号からする 出来栄えとは言えませんので、 か 出来」と自己採点でもしたのでしょうか。し き記しが見つかりました。 本尊様を安置していた台裏に それが三年前に須弥壇上を修理したとき、 そのユーモアな表現から垣間見るようで 長閑な田舎寺院に遊ぶ禅僧の真骨頂 現住八世 極上不出来」と達筆な書 お世辞にも上手な 「寛政元 自ら「極上不 丑七

らないままに本尊様を置き使われていたと思と二二七年前に工作した住職の証が、誰も知

えば感慨深いものがあります。

現在は香炉台代わりに、仏具カタログで紹介するどんな極上品よりも立派なように思え、大切に室中で使用しています。お盆の準高八世様の姿に拙僧を重ねて仕事の励みとなる八世様の姿に拙僧を重ねて仕事の励みとなりました。とても有り難いことです。

私たち宗侶は檀家さんに「今の自分はご先祖様から頂く命のつながり。どのご先祖様が先祖様とは尊いのです」と年回供養の大切さ先祖様とは尊いのです」と年回供養の大切さを説きます。寺院の継続も同じことで、開創を説きます。

りません。そう思うと、現住の開山以来の伝燈を後世につなぐ責任は重大となります。とあります。特に宗門寺院の大多数は人口減くあります。特に宗門寺院の大多数は人口減ぐが顕著な地域にあって、今までのような寺院維持は徐々に通用しなくなると危惧致します。理想の例えに、一つの瓶から次の瓶に水を余すことなく移す「写瓶」の伝授も、時代に即応した変化も必要と思います。とても難しい時代に直面致しました。

ぞれの寺院間で特徴があります。 がらも頑張らなければなりません。 ますが、 副議長は同時に宗務所護持会副会長にも就き なる情報もたくさんあることでしょう。 互い菩提寺を守る共通話題は、そこに参考と 持会の交流は有意義な集まりとなります。 しには成り立ちません。護持会の組織はそれ 方針からの役職と考えております。 これからの寺院維持には、 護持会側との連携を強固にするため 護持会の協力無 従って、 微力な 護 お

### 平成27年度 曹洞宗秋田県宗務所事業報告

	27年	事 業 名	開催場所	備考	参加数
4 11	13 日	寺族会総会	宗務所		69
4月	30 日	所報第 111 号発行		予算報告 他	
	12 日	臨時所会	宗務所		
5月	12 日	布教委員会·布教協議会	宗務所		
	27 日~30 日	梅花流全国奉詠大会	横浜市	パシフィコ横浜	128
	3 日	婦人会総会	宗務所		51
	5日~10日	特派布教巡回	管内 18 教場	特派布教師3名	1611
6月	19 日	監査会	宗務所		
	15 日~20 日	梅花特派巡回(宗務所会場:師範・詠範の会:2会場)	管内 17 教場	特派師範3名	944
	25 日~26 日	宗務所護持会総会	岩手大槌	地蔵尊点眼	38
	13 日~14 日	現職研修会	歓喜寺		185
7月	15 日~16 日	寺族会研修旅行	新潟六日町	西福寺・永林寺	20
1 / /3	24 日	通常所会(決算)	宗務所		
	26 日	梅花流秋田県60周年記念奉詠大会	秋田市	文化会館	936
8月		禅の集い	管内寺院		
ОЛ	8日~20日	宗務所休務		盆休み	
	1日	所報第 112 号発行		決算報告 他	
9月	2 日	宗務所長杯野球大会	秋田市		雨天中止
	19 日	梅花検定会(県北地区)四級師	i範・三級詠範・二	級教範まで受検可	73
	1日	宗務所寺族集会	宗務所		44
10 月	7日~10日		永平寺	宗務所休務	86
	30 日	設立集会(永年・寺族表彰式)25周年	秋田市	キャッスルホテル	183
11月	1日	禅センター記念日			
11 万	13 日	梅花検定会(中央・県南地区)	四級師範・三級詠筆	<ul><li>で・二級教範まで受検可</li></ul>	78
12月	26日~1月7日	宗務所休務			
	28年				
1月	20 日	所報 113 号発行		新年号	
	26 日	宗務所梅花講役員会	宗務所		12
2月	5 日	諮問委員会・災害対策協議会	宗務所		
4月	23 日	宗務所梅花講講長会	宗務所		24
3月		徒弟研修会	未開催		
_ эл	9 日	通常所会 (予算)	宗務所		

### 曹洞宗秋田県宗務所·禅センター 平成27年度 事業報告

### 【禅センター布教部・研修部・梅花部】

No.	平成	月 日	開始時間		事業名・備考	参加人数
1		4月3日(金	注) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	29
2		5月1日(金	注) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	23
3		5月19日(火	() 10時30分	布教部	布教師養成講座	29
4		6月5日(金	注) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	20
5		6月9日(月	1) 10時30分	梅花部	宗務所講師等研修会	26
6		7月1日(オ	() 10時30分	布教部	写経会	9
7		7月1日(オ	() 13 時	布教部	仏教講座① (~16 時)	31
8		7月3日(金	注) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	22
9		9月2日(オ	() 9時30分		宗務所長杯野球大会 雨天	中止
10		9月4日(金	注) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	28
11	27 年	9月8日(少	() 10時30分	布教部	写経会	8
12	21 平	9月8日(少	く) 13 時	布教部	仏教講座② (~ 16 時)	30
13		9月18日(金	注) 13 時	研修部	研修会	13
14		10月2日(オ	(10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	19
15		10月30日(金	注) 13 時 30 分		禅センター設立集会	44
16		10月30日(金	2) 13時30分	布教部	仏教講座・公開講座(設立集会)	183
17		10月30日(金	2) 13時30分	研修部	研修会 (設立集会併催)	183
18		11月5日(オ	(2) 9時	布教部	仏教講座・野外研修	26
19		11月6日(金	2) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	14
20		12月3日(オ	(10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	19
21		12月4日(金	2) 10時30分	布教部	写経会	5
22		12月4日(金	注) 13 時	布教部	仏教講座③ (~16時)	24
23		2月4日(オ	(10時30分	梅花部	梅花流講習会(15 時)	25
24	28 年	2月9日(少	() 10時30分	布教部	布教師養成講座	33
25	20 牛	2月26日(金	注) 13 時	研修部	実務研修会	37
26		3月4日(金	2) 10時30分	梅花部	梅花流講習会(~ 15 時)	25

### 平成27年度 曹洞宗秋田県宗務所歳入歳出決算書

一金 60,250,495 円 平成 27 年度 歳入決算額

—金 48,177,235 円 平成 27 年度 歲出決算額

一金 12,073,260 円 差引残額

(単位:円)

項	目	本年度予算額	本年度決算額	増減
歳入	合 計	58,934,671	60,250,495	1,315,824
歳出	合 計	58,934,671	48,177,235	$\triangle 10,757,436$
差引	残 額	0	12,073,260	12,073,260

### 歳入の部

	_					11 ±1.17 5 5	-v
	項		目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	説明
1	賦	課金		41,366,960	41,405,160	38,200	
		1. 寺	格 割	1,839,000	1,839,000	0	格地@ 10,000 × 24 法地@ 5,000 × 317 准法地@ 2,000 × 7
		2. 級	階 割	35,996,960	35,924,160	△ 72,800	449,052 点× 80 円
		3. 教	師 割	3,531,000	3,642,000	111,000	大教師@ 42,000 × 6 名 権大教師@ 30,000 × 58 名 正教師@ 6,000 × 164 名 一等教師@ 3,000 × 132 名(一等教師補 2 名含む) 二等教師@ 2,000 × 135 名
2	手	数	料	2,400,000	2,666,400	266,400	
		1. 手	数料	2,400,000	2,666,400	266,400	各種申請手数料 宗務所義財金 梅花義財金
3	補	助	金	700,000	1,021,336	321,336	
		1. 補	助金	700,000	1,021,336	321,336	本庁事業補助 事務補助 梅花補助 教化補助 現職研修会補助 他
4	諸	収	入	3,500,000	4,189,888	689,888	
		1. 諸	収入	3,500,000	4,189,888	689,888	現職研修会受講料@7,000×185名=1,295,000 梅花検定料@3,000×141名=423,000 梅花奉詠大会参加料@2,000×768名=1,536,000 預貯金受取利息2,343 大遠忌局503,500 所会懇親会添菜等226,000 その他
5	繰	越金		10,967,711	10,967,711	0	
		1. 繰	越 金	10,967,711	10,967,711	0	
	歳	入合	計	58,934,671	60,250,495	1,315,824	

### 歳出の部

	項		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	説明
1	人	 件 費	16,340,000	16,945,604	605,604	
		1. 役職員手当	5,040,000	5,040,000	0	@ 70,000 × 6 名× 12 ヶ月
		2. 書記手当	1,680,000	1,680,000	0	@ 70,000 × 2 名× 12 ヶ月
		3. 傭 人 費	200,000	160,050	△ 39,950	ワックス3回 ガラス拭き 所内清掃
		4. 旅 費	4,000,000	4,033,554	33,554	管区宗連 教化センター 本庁 各種講演会 本山研修会 梅花流全国大会 他
		5. 費用弁償	4,300,000	4,912,000	612,000	所長 8,000 副所長 7,000 教化 7,000 庶務 8,000 梅花 5,000 人権 4,000 明石書記 3,000 佐藤書記 8,000
		6. 期末手当	1,120,000	1,120,000	0	@ 70,000 × 2 × 8 名
2	事	務 費	4,400,000	3,267,725	△ 1,132,275	
		1. 備 品 費	650,000	250,782	△ 399,218	書籍 事務機器 他
		2. 通 信 費	1,000,000	879,138	△ 120,862	電話料 郵便料 配送料 他
		3. 印刷費	600,000	264,600	△ 335,400	封筒 賞状 他
		4. 消耗品費	500,000	422,145	△ 77,855	
		5. リース料	550,000	·	△ 71,308	プレップンヤハン月額 守
		6. 広 報 費	1,100,000	972,368		宗務所所報3回発行 ホームページ管理料
3	管	理費	2,850,000	2,475,612	△ 374,388	
		1. 維 持 費	700,000		△ 14,270	P   TU
		2. 地 代	250,000	250,000	0	天徳寺様借地代
		3. 営 繕 費	1,000,000		△ 226,000	余汤益修理
		4. 光 熱 費	900,000		△ 134,118	·
4	会	議費	1,500,000			
		1. 所 会	1,300,000			
		2. 委 員 会	200,000			監査1回 諮問1回 災害対策協議会1回
5	事	業費	10,050,000	8,633,607	△ 1,416,393	
		1. 事 業 費	2,150,000	1,383,382	△ 766,618	現職研修 641,259 本山研修 399,123 輪袈裟代 103,000 寺族集会 90,000 所長杯 150,000
		2. 布教伝道費	1,000,000	866,570	△ 133,430	特派教場@ 20,000 × 18 特派布教師送迎費 316,570 宗務所布教師・会場補助 190,000
		3. 梅 花 費	5,500,000	4,994,441	△ 505,559	梅花特派教場補助@ 20,000 × 17 教場梅花全県奉詠大会 2,799,143 役員会·講長会 155,000 検定会 489,786 師範会 700,000 一泊研修会 100,000 特派師範送迎費 224,290 梅花養成所 73,200 他
		4. 教 化 費	650,000	641,558	△ 8,442	布教委員会 300,000 布教協議会 167,300 管区寺族会負担金 50,000 禅の友(一年間)28,800 各種研修会 等
		5. 慰 問 賞	150,000	120,000	△ 30,000	住職永年勤続 50 年·60 年祝膳料 50 年 4 師
		6. 人権擁護 推進費	600,000	627,656	27,656	全国人権研修会 2 回 140,000 書籍資料 12,096 管区人権啓発研修会 292,000 他

	<u>項</u>		目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	説明
6	禅セ	ン	ター事業費	2,600,000	2,225,890	△ 374,110	
			1. 会 議 費	150,000	87,874	△ 62,126	三部会長会議費 各委員会
		Ì	2. 布教部費	700,000	666,621	△ 33,379	仏教講座 写経会 布教師養成講座
		Ì	3. 研修部費	600,000	528,000	△ 72,000	各種研修会
			4. 梅花部費	450,000	332,452		梅花流講習会
		Ì	5. 運 用 費	700,000	610,943	△ 89,057	
7	補	Ē	力 費	7,657,000	7,598,516	△ 58,484	
		[	1. 事務補助	4,200,000	4,140,516		所費の 10% 各教区へ
			2. 事業補助	347,000	348,000		教区主催現職研修会・寺族研修会補助金
			3. 所護持会補助	700,000	700,000		宗務所護持会 700,000
		ŀ	4. 禅の集い	800,000	800,000		教区寺院開催補助金
		ŀ	1, 1717/7.1	000,000	000,000	O	保護司 200,000 曹青会 500,000
			5. 教化団補助	1,610,000	1,610,000	0	寺族会 350,000 尼僧団 100,000 婦人会 300,000 教誨師 60,000
							布教師の会 100,000
8	表	草	<b>費</b>	300,000	385,108		D while the last to the second
			1. 表 彰 費	300,000	385,108		住職勤続・寺族表彰 記念品代
9	慶	Ē	<b>费</b>	2,400,100		△ 1,460,100	
			1. 慶 弔 費	400,000	140,000		結制・落慶 本葬 等
			2. 本山慶弔費	100	0	△ 100	両本山慶弔会 等
			3. 弔 慰 金	2,000,000	800,000	△ 1,200,000	管内寺院住職・東堂 100,000 × 6 名 寺族 50,000 × 4 名
10	負	担	金	539,400	539,400	0	
			1. 全国所長会	156,600	156,600	0	348 ヶ寺×@ 350 全国所長会災害援護 金 348 ヶ寺×@ 100
			2. 布教助成費	208,800	208,800	0	348 ヶ寺×@ 600
			3. 管 区 費	174,000	174,000	0	348 ヶ寺×@ 500
11	交	際	費	400,000	186,937	△ 213,063	
			1. 交 際 費	400,000	186,937	△ 213,063	
12	食	糧	費	1,150,000	1,342,616	192,616	
			1. 所会食糧費	600,000	823,948		通常所会2回(前教区長慰労含む)
			2. 委員会食費	50,000	36,642	△ 13,358	監査会 (1) 諮問委員会 (1)
			3. 所内食糧費	500,000	482,026	△ 17,974	
13	財政	文調	整費	8,284,671	2,213,254	△ 6,071,417	
			1. 災害見舞金	2,000,000	0	△ 2,000,000	寺院火災見舞金 1ヶ寺分
			2. 記念品代	750,000	153,148	△ 596,852	教区長退任記念品代
			3. 財政調整金	4,534,671	1,060,106	△ 3,474,565	設備費 2 F 暖房器更新 事務所ストーブ更新
			4. 基本金操出金	1,000,000	1,000,000	0	
14	選	挙	費	300	0	△ 300	
			1.副貫首	100	0	△ 100	
			2. 宗務所長	100	0	△ 100	
			3. 宗会議員	100	0	△ 100	
15	雑		費	163,200	125,836	△ 37,364	
			1. 雑 費	163,200	125,836	△ 37,364	町内会費 新聞購読料 置き薬 他
16	予	備	費	300,000	65,000	△ 235,000	
L		_ [	1. 予 備 費	300,000	65,000	△ 235,000	婦人会役員遠忌集会参加費補助
	歳	出	合 計	58,934,671	48,177,235	△ 10,757,436	

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比 較 増 減
歳出合計	58,934,671	48,177,235	△ 10,757,436

### 平成27年度 曹洞宗秋田県宗務所歳入歳出剰余金処分

歳 入 合 計 60,250,495 円 歳 出 合 計 48,177,235 円 差 引 残 高 12,073,260 円

上記剰余金を下記の通り処分する。

記

金 12,073,260 円を平成28年度会計に繰り入れる。

以上

### 平成28年度 曹洞宗秋田県宗務所補正予算

### 歳入の部

	項			目		当初予算額	補正予算額	現計予算額	説	明	
5	繰	走	戉	金		9,158,040	2,915,220	12,073,260			
			1. 繰	良越	金	9,158,040	2,915,220	12,073,260	前年度繰越金		
	歳	入	合	計		56,210,000	2,915,220	59,125,220			

### 歳出の部

	項			目	当初予算額	補正予算額	現計予算額	説	明	
13 財政調整費		6,379,000	2,915,220	9,294,220						
			3. 財	政調整金	2,179,000	2,915,220	5,094,220			
	歳	出	合	計	56,210,000	2,915,220	59,125,220			

### 平成27年度 宗務所基本金積立会計報告

(将来の宗務所改築のための積立)

項目	金額	付 記
前年度繰越額	15,552,144	
一般会計繰入金	1,000,000	
雑   収	4,117	預金利息
合 計	16,556,261	

積 立 金 16,556,261円 次年度へ繰越

### 平成27年度 東北管区事業報告

	27年	事業名	開催担当	開催場所
4 FI	9 日	第 142 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
4月	21 日	教化センター布教師協議会	宮城県	ニュー水戸屋
5月	21 日~22 日	管区宗務所連絡協議会	福島県	サンルートプラザ福島
6 H	3日~4日	管区人権三者協議会	山形県	善寳寺
6月	14 日	本庁主催禅をきく会	岩手県	正法寺
7月	7日~8日	管区婦人会研修会	山形県	あつみ温泉
	16 日	第 143 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
8月	27 日	第 144 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
9月	1日~2日	青少年教化指導者研修会	教化センター	メルパルク仙台
9月	14 日~15 日	教化活動企画委員会	教化センター	ホテルモントレ仙台
10月	1日	第 145 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
10 万	27 日~28 日	管区布教講習会 (検定無し)	岩手県	ホテルシティプラザ北上
11 H	11 日	第 45 回教化フォーラム	教化センター	メルパルク仙台
11 月	16 日~17 日	管区役職員人権研修会	山形県	善寳寺
12月	3 日	第 146 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
	28年			
1月	28 日	人権主事協議会委員会	教化センター	ホテルモントレ仙台
2月	3 日	第 147 回禅をきく会	教化センター	楽楽楽ホール
	9 日	教化活動企画委員会	教化センター	ホテルモントレ仙台
3月	3 日	教化活動推進委員会	教化センター	ホテルモントレ仙台

いる「臨床仏教研究所」

の講座にも

度々お招きいただくなど、幾多のご

縁があり、この度の正力賞の推薦に

国青少年教化協議会主幹の神仁師か が昨年末、宝昌寺新川泰道師から「全

日にちまでは忘れてしまいました

# 正力松太郎賞受賞にあたって

### 月宗寺住職 袴田俊英老師



プロ 賞」と聞けば、 と誰もが思っ がもらう賞だ 正 力松太郎 野球選手

ていることでしょう。 実は私もそう

だき、ご自身が上席研究員となって 師に連絡し詳細を尋ねました。 こともありました。僧侶が自死問題 コーヒーサロン「よってたもれ」に にかかわる意義を大と評価していた いのちを考える会」の行っている 動に興味を持ち、 神師はかねてから秋田の自死予防 わざわざ東京から視察に訪れた 私ども「心と

ついても師の強い推挙があったよう

りました。一方でこの法律によっ 飛躍的に前進し、近年は3万人を切 制定され、日本における自死対策は との一言でした。自殺対策基本法が 心を動かされたのは「賞金が出る」

らんで書類選考に応募した次第 さに干天に慈雨。お金に目がく だいた今回の受賞のお話は、ま 状況にあります。その中でいた 県も財政難ということで厳しい とう県民運動」も啓発活動が中 した。私が関わっている「心と 心で、県の補助金が頼りですが、 いのちを考える会」も「ふきの から国の補助対象から外されま て、啓発活動は費用対効果の面

う。」との電話をいただき、早速神

の連絡があったが、如何しましょ ら、正力松太郎賞に推薦してくれと

も同席させていただき、日頃 罪滅ぼしをしたところです。 テルで開催された授賞式には妻 き受賞ということになりました が、5月31日に東京グランドホ 運よく選考会でお認めいただ

> 納めたことをご報告申し上げ、さら 願い申し上げます。 予防に対し御高配を賜りますようお には管内寺院様には益々秋田の自 いただくべく、二つの団体の会計に 副賞は間違いなく活動に使わせて



### 平成 28 年度布教師検定会のお知らせ

- 1,期 平成29年2月2日(木)正午から受付
- 2, 会 曹洞宗宗務庁
- 申請書類 布教師検定申請書(様式教化第15号) 3,
- 締切日 平成 29 年 1 月 10 日 (火) (宗務所経由にて宗務庁必着)
- 5, 検定課目 布教実演・筆記試験・口頭試問
- 6, その他詳細については、宗務所にお問い合わせください。

### 笑顔 楽顔

## 笑顔溢れる社会に

## 神奈川県長尾寺住職・遠上藤清

謝申し上げます。 力下さいました皆様には、心から感教場主老師、そして準備の為にご尽務所役職員の皆様、各教区長老師、務所役職員の皆様、各教区長老師、新知回させていただきました。宗本年度、秋田県宗務所管内を特派

巡回中は、聴衆の護持会役員さま、 巡回中は、聴衆の護持会役員さま、 の方達のためにも、私自身の更なる とに深く感銘を受けるとともに、こ とに深く感銘を受けるとともに、こ とに深く感銘を受けるとともに、こ

しです。 生かしあう社会にしましょうとお示り添い ともに歩む」、いのち、をしに学び、「ともに願い ともに寄む」。いのち、をとにいいから、をしに学び、「ともに願い ともに寄いるととををしてす。

「同事」とは、自己と自己を囲む

教区長老師、

教場主老師はじ

考えることです。思いを寄せる。相手の立場になってないことです。相手の立場になってすべての人やものの間に垣根を作ら

です。
「何故、ともに寄り添い、ともに歩む必要があるのでしょうか。それは、地球上で人間ほど心が弱い生き物はいないからです。人間には感情があるからです。強く見える人ほど窮地はも必要があるのでしょうか。それは、

教できましたのも、事前打ち合わせ も素直に表現されており、勇気をも らえるからではないでしょうか。 人は不安なときに、誰かが側で寄 り添ってくれたら、心強く、勇気が 間るものです。私自身、無事巡回布

お陰だと確信しております。め、御老師方が寄り添って下さった

ことができるのだと思います。き、相手との垣根が消え、寄り添うき、相手との垣根が消え、寄り添うと

無常の世の中にあって、限りある無常の世の中にあって、限りある

です。そんな尊い命が苦しんでいたら、そんな尊い命が苦しんでいただけ少しでも輝きを取り戻していただけとに学び、笑顔の溢れる世の中になることを願って、精進して行く所存ることを願って、精進しんでいたら、

きます。 合掌とさせていただ深謝し、御礼の言葉とさせていただ

18 教 区	12 教 区	14 教 区	3 教区	4 教区	1 教区	教区
6 月 18	6 月 17	6 月 16	6 月 15	6 月 14	6 月 13	月
(土)	金	日(木)	日(水)	日(火)	日 (月)	日
龍泉寺	長泉寺	陽山寺	慶祥寺	龍門寺	歓喜寺	教場



教そのものが手探りの状態でした。



### 初めての巡回

### 永伝寺住職 川上

というものが開催されてなく、そん めて心より感謝申し上げます。 派布教巡回のご縁を頂きました。 な東京から参りました私には特派布 したが、東京には近年まで特派布教 六日間、六教場を廻らせて頂きま 皆様には各教場でご高配を賜り改 平成二十八年度、秋田県宗務所特

わった沢山の方々のおかげで何とか 六日間をお勤めする事が出来まし したが、宗務所々長老師始め職員の 何もかも全て解らない私でありま 今回の特派巡回受け入れに関 護持会役員の皆様と檀信徒の また会場寺院諸老師、教区長

振り返れば学びと感動の連続でし

葉には大変救われました。「宗勇さ 派さん。解らないことがあったら何 でも言ってくださいね。」と気さく ん」と声をかけて下さる本山修行当 にお声をかけて下さる諸老師方の言 まごついている私に対して、「特

> た私にとっては全てが未体験のもの ました。昔、コンクリートジャング 館の皆さん。人との出逢いと心の触 時の先輩や後輩。 られませんでした。 であり、全ての事に感動せずにはい ルと言われた東京で五十年生きてき ながら沢山の関わりを学ばせて頂き のせせらぎ、自然の雄大さに包まれ れ合い。緑濃き山々と澄みきった川 り続けて下さった檀信徒の皆様や旅 タクシーが見えなくなるまで手を振 雨に濡れながらも

自にも不違なり、他にも不違なり せられた全ての人の集まりが海であ 自他一如、みんなで仏様の教えと一 ていく。だからこそ「同事といふは、 また自の真摯なる思いに他が呼応し す。他の真摯なる思いに自が呼応し、 身を含めて引き出されたと思いま 然にそれぞれの真摯なる思いが私自 を圓成させようとする人達の中で自 ると思います。一所懸命に特派布教 回の特派巡回に関わられ、思いを寄 ざるは同事なり」とありました。今 管長様のお言葉に「海の水を辞せ

> 事は可能性であると改めて秋田 地で強く心に思った次第です。 教は生き方であり、 つになってしまうと思います。 生きるという の 仏

6 教区

月14日火 月13日(月)

17教区

6 月

教区

日

教

場

16 教区 15教区

并 15

日(水)

す。 仏道に邁進して参りたいと思いま なり、新しい人との出逢いを求めて そして次は私自身が川となり海と 秋田の皆様の海に混ぜて頂き、

した。心より感謝申し上げます。 秋田の皆様、 大変お世話になりま

8 教区

6 6 6 6

月 18 月 17

日 (土) 日(金)

多寶院

永巖寺

5 教区

月16日(木)

地蔵院 蔵伝寺 天仙寺 永泉寺



### 出会いに感謝

島根県常光寺住職

野津

雅史

御礼申し上げます。私の宝物がまた りご支援、ご協力賜りました御寺院 御県北部を中心に六教場にお伺いい ひとつ増えました。 徒の皆様お一人おひとりに、心より さらには、ご参集下さいました檀信 深甚なる感謝の意を申し上げます。 様、役員の皆様にこの紙面を借りて たしました。その初、中、終にわた 今般ありがたいご縁をいただき

て示達される当該年度の巡回地発表 の時間は、特派布教の任をいただく 毎年度初め、東京の宗務庁におい

> を正す瞬間でもあります。 者にとって、 楽しみであり同時に襟

県宗務所』の名を目にした時、 本音です。 て伺う秋田に心が躍ったというのが 本年はと言えば、巡回先に 秋田 初め

を目印に島根半島から北前船を操舵 います。 な物語を聞かされていたからだと思 したという地元の古老からいろいろ おそらくそれは、幼い頃、 鳥海

初の巡回先である北秋田市を、 そんな身勝手な親近感からか、 秋田 最 おります。

とは、落ち着くべき所に落ち着くこ た。(ちなみに私は、「あんべいい」 を知ることができたのは収穫でし とと解釈しました……) してしまいました。 市の北辺と思い込み、 ふれ合い、「あんべいい」の片りん かげで駅舎や車中でたくさんの方と しかし、そのお 随分遠回りを

いからです。 にする私たちの日常生活が欠かせな 会の実現のためには、出会いを大切 にある、゛いのち゛を生かしあう社 でお伺いしました。告諭(おことば) 今回私は、『命はであい』の演題

えば、 です。それは、ことばの遣い方、身 えることに帰着します。秋田流に言 のふるまい方、こころの在り方を調 釈尊の教えは、命の遣い方の教え あんべいい生き方です。

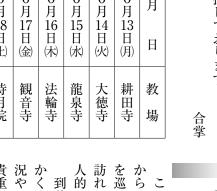
世をも照らす光明であると確信して和讃』のことばを借りれば、人をも きることを願ってやみません。 ております。命を大切にするために、 正に目をそむけたくなる悲劇が続い 田の皆様は、梅花流御詠歌『誓願御 人ひとりがあんべいい生き方がで 歴史と文化と、人情味あふれる秋 我が国や世界に目を向けると、

身近な出会いを大切にすることから 出会いは無限。しかし、すべては

始まります。

の地から応援しております。 に感謝してまいりましょう。 お互い仏教徒として、 日々の出会 出雲

2 教区	13 教 区	9 教区	18 教区	11 教区	10 教区	教区
6 月 18 日 (土)	6月17日金	6月16日休	6月15日水	6月14日火	6 月 13 日 (月)	月日
待月院	観音寺	法輪寺	龍泉寺	大徳寺	耕田寺	教場





## 巡回を振り返って

### 静岡県 永住寺住職 大竹

広真

訪れるのは特派巡回はもちろん、 を巡回させて頂きました。秋田県を から二十五日迄秋田県宗務所様管内 人的にも初めてです。 この度御法縁を賜り、 六月二十日 個

を頂戴いたしました。 き、翌日からの講習に大きな力添え 貴重なお話や、励ましのお言葉を頂 況やご自身の梅花との関わりなどの かく迎えて頂き、管内の梅花講の現 到着の日には師範会の先生方に温

唱と基本がしっかり整っており、 されている方々で、作法・所作・詠 間を通じて宗務所養成所で学び研鑽 地元宗務所養成所と比較すると羨ま 待され楽しみであると同時に、 頂く事はありますが、師範様の受講 の巡回でも師範詠範様へ講習させて の賜物と感服した次第です。又、 導に当たられている先生方の御指導 範詠範様方の講習でした。さすが年 人数がこれほど多いのは初めてでし 初日は禅センターに於きまして師 い限りでありました。 今後の更なる御研鑚御活躍が期 私の 他 指

> 縁である事をあらためて強く感じま 於いて梅花流が結ぶ尊く有り難い御 慮を頂き、御寺族様にはお心こもる 様、各御寺院様方には受講者一同 ました。教場主様はじめ、 多くの皆様方と楽しく学ばせて頂き 少なく暑さもそれほど厳しくなくて 北部を巡回させて頂きました。 講習に集中できるよう細やかな御配 快適な環境のもと、ご参加下さった 入りの時期ではありましたが、 おもてなしを頂戴致しまして全てに 二日目からは鹿角市に始まり県 教区長 梅 雨 が

曲ばかりでしたが、日頃から先生方 題曲は決して唱え易いとは言えない 持ちのこもったお唱えと整った作法 と真剣に学ぶお姿から発せられる気 唱え込んでおられる様で、お一人お の御指導の下、基本を反復しかなり めました。事前にお知らせ頂いた課 会を控えて登壇の課題曲を中心に進 一人の梅花流に取り組む意識の高さ 作に一心和らぐ心地良さを感じな 講習に関しては、宗務所の奉詠

た。

今般の巡回では奉詠大会の練習だけでなく今後の研鑚の一助になればけでなく今後の研鑚の一助になればりですが、皆様の溢れる熱意に対し存分にお応えできず今なお猛省しております。巡回を通し皆様の姿勢から学んだ。基本を反復する事。の大切さを自らの課題の一つとして更に切さを自らの課題の一つとして更にが、巡回に際しまして宗務所長老師、巡回に際しまして宗務所長老師、各位皆々様

上げます。ありがとうございました。所梅花講の益々の御発展を祈念申し衷心より感謝申し上げ、秋田県宗務には大変お世話になりましたこと、

2 教区	18 教区	18 教区	10 教区	11 教区	導者養成所	教区
6 月 25	6 月 24	6 月 23	6 月 22	6 月 21	6 月 20	月
日(土)	日(金)	日(木)	日(水)	日(火)	日 (月)	日
天昌寺	長興寺	玉林寺	常光寺	圓福寺	宗務所	教場

# 巡回後に気付かされたこと

## 新潟県西明寺住職佐藤・道春

伝わってまいりました。「これは八んな空気を感じた三方を山に囲まれた秋田県。風土と歴史からか、そのた秋田県。風土と歴史からか、そのれたときには、智慧と慈悲)を感じまれたときには、智慧と慈悲が顕れてれたときには、智慧と慈悲が顕れてれたときには、智慧と慈悲が顕れてれたときには、智慧と慈悲が顕れてれたときには、智慧と慈悲が顕れていたように 思われました。皆様のいたように 思われました。皆様のない静かさ、そ

- 仏こらこは、돌せと育らJがらり巡回が終わってからでした。 正道の正念だ!」そう気付いたのは

私たちには、幸せを育む力があり私たちには、幸せを育む力があり私たちには、幸せを育む力があり私たちには、幸せを育む力があり私たちには、幸せを育む力があり

たのです。
たのです。
たのです。
たのです。
たのです。
ただと。まさに皆様からのお唱えかとだと。まさに皆様からのお唱えかとだとのませとは、自分とその周りでたちの幸せとは、自分とその周りで

身につけば、 こを気付くこと、すなわち「念」が を身につけられます。これを正しい 事を通して、今、ここを気付くこと して、食べ物そのものにも感謝の心 偈文のお唱えとともに食事が目の前 す。静寂を基に丁寧に食器を扱い、 作法は静かに坐ることから始まりま ます。道元禅師様の示された食事の ました。その一つに食事作法があり の秘訣を道元禅師様は様々な場面で たされるのではないでしょうか。そ どうでしょう。一瞬一瞬が喜びに満 気づきながら暮らすことができたら かりと見つめる力を失いがちです。 慣に縛られ、また、未来に心を奪わ 念が身につくとも言います。今、こ くれるのです。そして、いつしか食 心が養われます。作法が心を運んで す。器を丁寧に両手で扱うと慈悲の を持ちます。器は必ず両手で持ちま に至る経緯に心をめぐらせます。 の作法を仏の道として残して下さい しかし、生活で触れるものすべてに れ、「今、ここ」の人生の不思議をしっ 私たちは日常の生活で、過去の習 朝目覚めてから、 そ

りに着くまで、日々の生活の一こまりに着くまで、日々の生活の一こまが輝きに満たされるのです。この度、梅花流詠讃歌のお作法とお唱えは、この食事作法と同様であると気付きました。秋田県の皆様かると気付きました。秋田県の皆様かると気付きました。秋田県の皆様かることなく生活と混然一体となっていた「正念の響き」だったのです。喜びの自分自身を取り戻す「作法の形」で満たされていた梅花流詠讃の形」で満たされていた梅花流詠讃の形」で満たされていた梅花流詠讃の形」で満たされていた梅花流詠讃の形」で満たされていた梅花流詠讃の形」で満たされていた梅となった。

7·8·17 教区	13 教区	12 教区	9 教区	9 教区	導者養成所 師範詠範指	教区
6月25日出	6月24日金	6月23日休	6月22日水	6月21日火	6月20日(月)	月日
					, ,,	教
福城寺	萬境寺	相川寺	長慶寺	宝昌寺	宗務所	場

したことは、皆さまがとても熱心に

最後になりましたが、

宗務所長老

巡回させて頂きました中で感じま

みある秋田の地でも、

とても身の引

今まで二、三度訪れていた馴染

き締まる思いで臨ませていただきま



## 尊いご縁を頂いて

## 北海道祥巌寺中村一样嗣

特派師範としてまだ日が浅い私にめさせて頂きました。のさせて頂きました。のとを務が月二十~二十五日まで秋田県宗務のでの度、尊いご縁を頂きまして、この度、尊いご縁を頂きまして、

始まる巡回の大きな心の支えになりいお言葉を頂戴しまして、翌日から方に温かく迎えて頂き、また有り難到着初日に宗務所・師範会の先生

二十日は宗務所禅センターにて師になることばかりでした。

第であります。

ので三番もお願いします」と笑顔で せて頂きました。 であり楽しく有意義な時間を過ごさ 私にとっても貴重な時間であり勉強 お願いされたりもしました。 番だけ唱えましょうと言いましたら るのに残り時間が無かったので、一 る教場では、「報謝」のお唱えをす しかけてくれる方がいましたり、あ とを一番にしています」と明るく話 たちはとにかく楽しくお稽古するこ ていましたり、 いない方が熱心に講習を聞いてくれ 「 先生、 ある教場では、まだ法具を持って 私三番の歌詞が大好きです ある教場では、 毎回が

でいました。 秋田県宗務所管内梅花流の益々の で発展と管内皆様の愈々のご健勝ご で発展と管内皆様の愈々のご健勝ご で発展と管内皆様の愈々のご健勝ご

5·6·15·16 数区	14 教区	3 教区	4 教区	1 教区	导者養成所即範詠範指	教区
6 月 25	6 月 24	6 月 23	6月22日水	6 月 21	6 月 20	月
日(土)	金金	日(木)	日(水)	日(火)	円 (月)	日
東山寺	龍雲寺	蔵堅寺	長善寺	玄心寺	宗務所	教
寺	寺	寺	寺	寺	所	場

### 表紙の言葉

題名 「爽秋」

撮影日 平成 27 年 9 月 1 4 日

日中の日差しはまだきつくとも、朝晩は冷ややかさを感じる。 実りの季節を迎え、爽やかな日和に、なんと言っても天候の 順調そして農産満足を願う。 には布教教化方針を丁寧に解説して遠藤老師には管長告諭を、川上老師

# 教化コーナ

# 布教委員会・布教協議会報告

り宗務所・禅センターで開催されまり宗務所・禅センターで開催されまは、五月十一日(水)午前十時半よ

先ず、布教委員会は、宗務所参与、 教化センター布教師、特派布教師、東北教区長、教誨師、特派布教師、宗務所梅花講師、青 本花特派師範、宗務所梅花講師、青 本本教化員を対象として、開催され ます。毎年四月一日に、今年度の管 ます。毎年四月一日に、今年度の管 ます。それを受けて、今年度の宗門の と解説をお願いし、今年度の宗門の と解説をお願いし、今年当県を巡回 される特派布教師老師に、その説明 と解説をお願いし、今年当県を巡回 される特派布教師老師に、その説明 と解説をお願いし、今年当県を巡回 される特派布教師老師に、その説明 と解説をお願いし、今年当県を巡回 される特派布教師老師に、その説明 と解説をお願いし、今年当県を巡回 なれる特派布教師老師に、その説明 と解説をお願いし、今年当県を巡回

勇特派布教師様お二人をお迎えし、さて今年度は、遠藤清門・川上宗で効率化しております。

いただきました。その他特派巡回、特派梅花巡回に関する留意点等を確特派梅花巡回に関する留意点等を確特派梅花巡回に関する留意点等を確特派梅花巡回に関する留意点等を確認し、午前の委員会を終了しました。テーき布教協議会が行われました。テーき布教協議会が行われました。テーさが出る二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご始めにお二人の特派布教師様にもご会が頂き、特にご出身が神奈川、東京と言うことで、最近の都会に対して、

(教化主事









した。

# 梅花コーナー

### 全国奉詠大会

平成28年5月18日から19日の2日平成28年5月18日から19日の2日界は北陸新幹線開通に伴って賑わっました。今回の会場は北陸新幹線開通に伴って賑わっました。

がまだまだあるとのことでございま 歓迎の言葉があり式典終了となりま 富山県宗務所長・伍香修道老師より 垂示をいただき、 なり「三宝御和讃」奉詠中、曹洞宗 灯・献花が行われ、いよいよ開会と 園・めぐみ幼稚園の園児達による献 した。オープニングでは剛琳寺学 長宗務総長・釜田隆文老師より式辞。 典・法要が営まれました。猊下の御 管長・福山諦法禅師様が入堂され式 コンクール」という大会が開催され ドンマンが集まる「全日本チンドン た。富山では毎年4月に全国のチン ているそうで、日頃から接する機会 しいちんどん屋が出迎えておりまし 会場に向かう道の途中には昔懐 **犯下退堂後大会会** 

第3部は例年通り登壇奉詠という 第3部は例年通り登壇奉詠いたあり、ほぼ講員全員が登壇奉詠いたあり、ほぼ講員全員が登壇奉詠いたあり、ほぼ講員全員が登壇奉詠いたの合同の登壇奉詠となりました。奉所、山形県第1宗務所、山形県第1宗務所、山形県第1宗務所、山形県第1宗務との合同の登壇奉詠となりました。 た皆さんは非常に上手にお唱えいただきました。

第4部の「越中八尾おわら節」を 無礼講で町中を練り歩いた事が始ま たされていますが、ある時町を上げ がいつから始まったか定かではない とされていますが、ある時町を上げ がいっから始まったか定かではない がいっから始まったか定かではない

た。

ないの大会唱にてフィナーレを迎えました会を終了し、「まごころに生きる」大会を終了し、「まごころに生きる」長・横井真之老師の閉会の言葉にて長・横井真之老師の閉会の言葉にて

して安心しております。 もなく無事に秋田に帰ってこられま 今回の全国大会中特に大きな事故

> らります。 が、たくさんのご参加をお待ちして ついては未定のところがあります ということが決まりました。詳細に ということが決まりました。詳細に

### 県奉詠大会

披露していただきました。 今大会は「ともに歩み」ともに唄うり添い ともに歩み」というテークまた新しい一歩~」というテーリをが、ともに歩み」ともに明ら

のご挨拶を申し上げ開会式を終了し 原記自職・柴田和明師範、第9教区玉 原副住職・柴田和明師範、第9教区玉 を詠後、導師宗務所長が上殿し予定 を記した。「三宝御和讃」 を記した。「三宝御和讃」 を記した。「三宝御和讃」 を記唱えし、最後に宗務所 が上殿し予定 をお唱えし、最後に宗務所 をお唱えし、最後に宗務所 をお明会式を執り行い、追悼献詠の をお唱えし、最後に宗務所 をお明会式を執り行い、追悼献詠の をお明会式を執り行い、追悼献詠の をお明えし、最後に宗務所 をお明るで、第9教区玉

きした。

を 全食を間に挟んで午後の部の最初 でしたが、今年は午前から開会でしたので午前と午後に分けて奉詠する 日程にさせていただきました。また、 日程にさせていただきました。また、 日程にさせていただきました。また、 日でしょうか。

昼食を間に挟んで午後の部の最初 「同行御詠歌(道交)」の登壇奉詠を 「同行御詠歌(道交)」の登壇奉詠を だされた後でさらに師範・詠範のす たされた後でさらに師範・詠範のす たされておりました。午後の登壇奉 たされておりました。午後の登壇奉 たされておりました。午後の登壇奉 たされておりました。午後の登壇奉 かくくりすべての奉詠が滞りなく終 りくくりすべての奉詠が滞りなく終

田島徳旺」氏と、新進気鋭売り出し田島徳旺」氏と、新進気鋭売り出し中の「小田島旺心」氏による津軽三中の「小田島旺心」氏による津軽三中の「小田島田・一のにさきました。個味線を披露していただきました。個きやすくてワクワクするものだとはきやすくてワクワクするものだとはきやすくてワクワクするものだとはもいませんでした。講員さん達の表問も皆さんにこやかに目をキラキラしながら清興にのめり込んでおりました。是非各お寺や地域の法要などした。是非各お寺や地域の法要など

ありがとうございました。

活躍を御祈念させていただきます。

謝しております。今後ともご協力を

無事に終了することができて感

お願い申し上げ、皆様のさらなるご

でも招待していただければ皆さん喜

話は逸れましたが、清興も盛り上がりのうちに終りあっという間に閉がりのうちに終りあっという間に閉がが始まりすぐ静座。会場が静まりのが始まりすぐ静座。会場が静まりのが始まりすぐ静座。会場が静まりのが始まりすぐ静座。会場が静まりの神に師範・詠範の会会長・本間雅憲中に師範による「浄心」の独詠。秋田県師花講の歌を奉詠していただいた神花講の歌を奉詠していただいたは感謝状をお渡しさせていただきました。一層のご活躍を祈念申し上げます。

今大会を開催するにあたりまして申し上げ大会を終了しました。道副所長より皆様へ感謝の気持ちを

師範老師、柴田弘一師範老師を始め

師範・詠範の会会長・本間雅憲

大会実行委員会の諸老師の皆様、新



ら大会終了まで準備・裏方等で各宗り感謝申し上げます。また、前日かしては、大会運営にご助言ご協力賜田寺様、大会役員諸老師におかれま

侶様には大変後難儀おかけしまし















80

ジです この紙面は皆様の思惑 を掲載するフリーペー 

### 五教区の皆さまの声

香川寺 剛道

高野山に参詣するというものでし 箇所を参拝し、結願後、 の年を第一回として三年間で八十八 年の八十八霊場開創千二百年の記念 霊場めぐり」に縁あって参加するこ とが出来ました。この計画は平成26 第一教区で募集した「四国八十八 本山である

途中で行き倒れてしまう人も少なく の参拝を終えマイクロバスで出発し 構わないという覚悟を表す姿とし ありませんでした。いつ命尽きても 注意点八項目位の説明を受け、最初 寺でお遍路の服装を整え、参拝時の ご存じのように、第一番札所霊山 昔の遍路では道程の厳しさから

> でした。 とバスでの参拝は誠に有り難いもの いわれています。 て、死者を意味する白装束が基本と そのことからする

は混雑の極みでした。 立て、線香立て、納経箱、 参拝者が多く、読経前の準備の灯明 第一回目の26年は千二百年のため 納札箱前

団が2列縦隊でないと収容しきれな て読経することが出来ました。 参拝者も減り、ゆっくりと心を込め い状態でした。二回目、三回目は、 で各一回なのですが、それも各参拝 読経は般若心経を本堂と大師堂前

皆様二人のお陰と金剛杖のかわりの のですが、 骨三個を金属板で固定しているの りです。私は 寄付の多さには、ただただ驚くばか のは信仰心を表す二千万、一千万円 寺ですが見事に復興して、今日ある 部の争乱により消失した寺院は22ケ 事でしょう。しかし天正10年長曾我 から伽藍建設は思いのままであった 弘法大師が41ヶ寺を開基したのです 皇の勅願を受け、行基菩薩が29ヶ寺、 塔、五重塔は十ヶ所でした。聖武天 り境内の伽藍は素晴らしい物でし どの寺院も本堂、大師堂はもとよ 普段は五百米位しか歩かれない 参拝するところから見えた多宝 同行二人ではなく、団体 「すべり症」で腰の

した。 ステッキで石段を上ることが出来ま 仏様の不思議な力なのかも知

スマホというも

林寺 林

パンケーキを頼んでいましたが、二 発しませんでした。 スマホに夢中で、それこそひと言も に若いカップルが座って、こちらも いました。二つほど離れたテーブル てくださいというので妻と話をして 文したのですが、二十分くらい待っ 行きました。流行のパンケーキを注 人はそれが運ばれてくるまでずっと 春ごろに妻と一緒にレストランに

ういう思いです。 見かけたこともありました。こちら るからけじめがなくなるのかな、 し難い出来事でした。常に傍らにあ ませんでした。どちらも私には理解 は最後までお隣さんとの会話もあり の場でスマホにかかりっきりの人を そういえば、葬儀が終わった会食 そ

たのかも知れません。 いし、とても重要な仕事を抱えてい しれません。対戦ゲームかもしれな 見方が偏っていると言われるかも

こしている人との関係はどうでもい ただ私には、いま一緒の時間を過

> いのかなあ、 と思えてしまうのです

でしょうか。

れません。このように思うのは妄語

す。 に人間はどこまでも、もちつもたれ にゃ、人という字は立ちはせぬ」「特 と書かれています。 の関係です。相対依存の関係です」 つ、生かし生かされつつあるべきで は「もちつ、もたれつ、互いによら 高神覚昇師の般若心経講義の中に しかもそれがとりも直さず因縁

よってしかも生かし生かされつつと いるのはもったいないこと。 いう機会が見えなくなってしまって スマホに夢中になって、 互いに

私には、 だ、喜怒哀楽の豊かな感情は、 るの、と思ってしまいます。便利な スマホを嫌ってはいませんよ。た と、いったい何処に行こうとしてい ている無言の大集団を見せられる す。でも、 いるように思えることしょっちゅう することから生まれると思っている 私が目にしたのは一時のことで 人と道具の立場が逆転して テレビでスマホに没頭し

## 独り暮らしの方の老いと死後について

### 海蔵寺 長谷川

えながら生活をしているのではない の事を考えた時、不安と心配事を抱 かと思うようになりました。 **た葬儀を務めさせていただいてか** 以前独り暮らしの方が亡くなられ 独り暮らしの方は、老いと死後

が、高齢になると身体が衰え自由に くなります。 動けなくなり、独りで動くのは難し それは、日常生活で、老いる以前 身体を自由に動かす事ができる

え、容易でなく、独り暮らしは困難 なくなり、少しずつできない事が増 ではと思います。 それまで動けてできていた事ができ 適応力と記憶力の低下などにより、 となり、老いによる生活苦になるの トを伴う為、臓器や器官の機能減退、 いき、老いると身体の様々な機能低 年齢を重ねることによって老いて

が無く、誰にも手を貸してもらえな い生活なので、苦難であり孤立状態 き合いの無い方は、誰とも接する事 たり、介護施設で介護をしてもらえ る近親者が居て、手助けをしてくれ るのは良い方だと思いますが、人付 独り暮らしでも、手を貸してくれ

倒な事は、どうしたらよいか? 手続き、遺品と遺産の処理などの面 の支払い、保険、年金、 が務めてくれるのか? 誰が行ってくれるのか?

通帳などの 諸々の費用 喪主は誰 儀社の手配と葬儀を執り行うのは、

になります。

味には違いがあり、死後すぐに発見 孤立死があるといわれ、どちらも独 思います。当然死後は、早期発見が らないように、孤立死を防ぐように ます。そこで、このような事態にな の独り暮らしでもおこる恐れがあり 暮らしの老人だけでなく、若い世代 ないです。このような事態は、独り 惨なのは、近親者でさえ葬儀に参列 えないかもしれないです。また、悲 葬前には一度も棺の蓋を開けてもら 腐敗が進み死臭も強くなり、湯灌も るようです。この孤立死の遺体は、 見された死は、孤立死といわれてい も気づかれず死後何日も経過して発 らえる死は、孤独死といわれ、誰に され、近親者に葬儀を執り行っても りで死を迎える事のようですが、意 良いが、誰に発見してもらうのか? しなければならない方法がないかと してもらえない恐れもあるかもしれ してもらえないまま納棺となり、火 死亡診断、死亡届、火葬許可、 独り暮らしの人の死は、孤独死と 莚

> らえるのか? 墓地管理費用の支払 るのか? り、取り壊すとしたら誰がしてくれ してた場合は、空家になる恐れがあ がしてくれるのか? 一軒家に居住 いは、どうしたら良いのか? 納骨にしても誰にしても 支払

### お盆経と過疎による広域

### 常在寺 藤 章芳

がっている所である。 にある様なのどかな山村風景が広 あり、氏の描く釣りキチ三平の作中 あり、漫画家の矢口高雄氏の故郷で る。狙半内地域にはさわらび温泉が 市増田町の狙半内地域に居住してい 常在寺のお檀家さんの多くは横手

生活されている方は豪雪による困 三十分圏内、具体的には増田町内、 職場がある方であれば職場まで車で 落との繋がりも残したいので県南に 変わらない故郷を求めている。一方 在意義であり不便ではあっても昔と 省された方は田舎は田舎たる所が存 る方両方と会話することになる。 えた方)またその家で生活されてい へと移住を考えている人が多い。 (特に昭和の時代に都会に住居を構 お盆経で訪れると帰省された方 利便性の悪さからもう少し町部 帰

> なってしまうのか? いができなくて、 墓じまいとまで

不安と心配を抱えながら、生活をし 題があり、こういった事を考えると、 ているのではないかと思います。 このように、死後様々な多くの問

### 化

十文字、旧横手市内へ移って行く。

現状では移転した先の地域でのお

性と利便性を求めて移住して行くの る。いずれお檀家さんも世代交代が 進むごとにより遠方の都市部に経済 は明白だろう。 盆経がいまでは広域化の為八日から になっており十年前は十四日から 檀家さんの数が全体の四分の一近く 十六日までの九日間に変化してい 十六日までの三日間で行っていたお

考えて例年通りのお盆が終わる。 開けておられる方の前で、 堵と人口流出による変化への対応を 寺の年間行事の一つを修行できた安 ている方の前で読経を終え今年もお は田舎であることに意味を見いだし 先祖を敬いお寺指定の日時に家を また田舎



れる白山へのトレッキングと様々な

ぼっくりで作る花炭、

地域で信仰さ

会館での芋の子汁、

竹や松

\*

ココーナ・ 「順です。

0)

掲載

稿 到

着 当

また、

肩書きとご が順は原

氏名は原稿に準じました。

### 地 域 لح 共に

### **猫院** 嶋 森 裕

憲

田活力人」 人として参加しました。 から3年 の事業に地域の協力者の 前 秋田県主宰の 秋

ます。 げる人材を育てるという事業であ 養大学と連携して、 秋田活力人」とは、 秋田県を盛り上 県が国際

いう想いでセミナーを受講される の住んでいる地域を活気づけたいと つ印象でした。 万々ですので、 )人弱の県内有志の方々です。 5期目にあたる「秋田活力人」 熱心な人が多いとい 自分 は

す。

30

岡地区です。 う気持ちから、 にして、様々な催しを行うこととな て試行錯誤して頂きました。 ばれたのが、 におんぶに抱っこではいけないとい )地を盛り上げる催し このセミナーの あ ました。地域の人々も 毎年秋に行っている収穫祭を軸 いました。 地元の人に代わってこ 当寺院がある湯沢市松 とても前向きに協 実践地域として選 を、 「活力人」 その結 年か け

> そうです。  $\bigcirc$ 植えたヒマワリと笑顔の写真をパネ 者も例年に比べて、 ルにして飾りました。 体での収穫祭となりました。 種を収穫したということで、 軒ずつヒマワリを植えてもらい を行いました。 中でも かなり多かった 皆がヒマワ 春に地 参加

ても 力で ながら地 された「収穫祭」 寺 檀 毎年行っております。 「秋田活力人」 致とよく言いますが、 域の人たちと協力してい は、 の事業が終了し 地元有志の 私も微 自ら ま 協 力

### 第1回仏教講座アンケート集計(44/51人)

良く見えた気がします。

とで、地域とお寺との在り方がより が地域に飛び込み住民と和合するこ

- ★あなたの性別は? 男性(11) 女性 (32)
- ★あなたの年齢は? 20代(0) 30代(2) 40代(3) 50代(1) 60代 (18) 70代 (15) 80代以上 (3)
- ◎講座へのご感想・ご意見を自由にお書き下さい。
- ①梅花も大変よかった
  - ・三宝御和讃、初めてでしたが心に響いて感動の涙が出ました
  - ・三宝御和讃感動しました。素晴らしい試み・初めて梅花流詠讃歌に触れることができて良かった

  - ・梅花流の講習は良かった。五線譜の梅花流良かった ・梅花もあり、バラエティに富んでいて3時間があっという間でした
  - ・三宝御和讚思いもよらず良かったです
  - ・三宝御和讃は亡き主人を思い出し涙が止まりませんでした
  - ・大変ためになるお話ばかりで楽しかったです。和讃も初めて体験し ましたが美しいですね。宗務所以外の会場も新鮮で良いと思いまし t=
  - ・梅花流詠讃歌の三宝御和讃を初めて聞いた
  - ・(梅花流詠讃) 歌があると聞いていましたが、普通の人は歌えない、 特別な時でないと歌えないと思っていたし、聞けないと思ってまし た。またこんな会がありましたら、梅花お願いします。

### ②学ぶことが多かった

- ・この歳で人としての勉強になりました
- ・仏の教えは普段の生活でも心に留めておくことで心おだやかに暮ら す事が出来るのだなぁと感じた
- ・仏教の話といえば、難しいというイメージがあるがお話を聞いて、 日常の生活、行動そのものであることを教えてもらいました。自分 の生き方、あり方を振り返る機会にもなりました。
- ③休み時間のお茶とお菓子ありがとうございました
  - ・優しい心くばりに心が癒された
- ④「同事」「私たちをつなぐもの」など分かりやすかった。今後、仏教

- 作法など教えてほしい
- ・印象に残った言葉「布施」「同事」「智慧」
- ・「同事」「智慧」という言葉を学ぶことが出来て良かった

継続できる事業ということで企

- ⑤講師のユーモアある語りと内容のあるお話で良かったです
- ・ 玉林寺様のお話に特に心打たれました(どのお話も録音したいです。 家に帰ってから聞き直したい)
- ・真面目なお話だけでなく、ユーモアもあって楽しかったです
- ・インパクトのある和尚さんで楽しかったです。聞きやすい進行でし
- ⑥なかいちでの開催、参加してみようという気持ちになれました
  - ・次回も同じ会場(なかいち)を希望します
  - ・新しい今回のような場所での開催も良いと思います
  - ・なかいち、街へ飛び出しての仏教講座とても楽しい教室になりまし
- ⑦とても良い講座でしたので、広報活動に力をいれてほしい
  - ・主婦は夕飯のことを考えると 4 時までやられると困る
  - ・入口に案内があれば良かった
  - ・次年度からは会場をお寺の本堂とかにしてもらいたい。実際に多く のいろんな仏さまの前で研修するといいのではないか → なぜなら 永平寺や総持寺、正法寺にはめったに行けませんから…
- ⑧思っていたよりリラックスして参加できました。面白かったです。 声を出して、身体も動かして、SMAPの名前も聞けて、ホロッとす る話も聞けて心の保養になりました。イケメンのお坊さんも見られ て目の保養にもなりました
  - ・この講座に参加する毎に自分の心が洗われる様な気持ちになります (毎回楽しみにしている講座です)
  - ・「仏教講座」の違う面が見られて興味深かった
  - ・仏教講座はなぜ始められたのでしょうか?

※仏教講座第一回のアンケートの抜粋掲載 於:なかいち

# 心を以て心が伝わる

話ぶり、 以外の手段によって伝えられる」があります。 えられるメッセージは、全体の35%にすぎず、残りの65%は、 ある人類学者の言葉に「両者間の対話では、 動作、ジェスチャー、 相手との間のとり方など、 言葉によって伝

が求められる時代とあって、これまで人と接する上で重要とさ れてきたコミュニケーションはあまり重要性を持たなくなった した。より多くの情報をより多くの人と短時間で共有すること でも誰にでも手軽に用件を伝えることも出来るようにもなりま を受け取ることが出来るようになりました。またいつでもどこ ような感じがいたします。 最近は携帯電話やインターネットの普及により、 様々な情報

以

行っております。その日ばかりは普段は静かな境内にもたくさ 人や子供連れの方が多いのも地蔵祭りの特徴といえるでしょ んの人たちがお参りに来られます。特に季節柄浴衣を着た若い 私のお寺では七月にお地蔵さまの縁日、いわゆる地蔵祭りを

その内容というのは遠くにいる家族のご祈祷も出来るのか、と がおります。 祷法要を行っております。その法要に毎年来られるあるご夫婦 この地蔵祭りではご家族皆さんの健康と幸せをお祈りする祈 ある時、そのご夫婦から問い合わせがありました。

> 書いて申し込んでください。」と申し上げました。 いうものでした。私は「大丈夫ですよ、心に思う人のお名前を

光岸寺住職

佐

藤

道

彦

ことを思いながら法要をつとめさせていただきました。その時 しいという願いが込められているのでしょう。私はそのような いたお姿が印象的でした。おそらくお孫さんが元気に育ってほ 前を書いておりました。申込用紙に一文字一文字丁寧に書いて れる方も多くいらっしゃいます。そのご夫婦はお孫さんのお名 実際に離れて暮らす息子さんや娘さんのことを思いご祈祷さ 、来、ご夫婦は毎年必ずお参りに来られるようになりました。

までご祈祷のお札を預かっていてほしいとのことでした。 そして後日体調が良くなったらお寺に受け取りに行くのでそれ なかったようです。ただ毎年お孫さんのご祈祷をされておりま たしました。 れならばと遠くに住んでいる息子さんに直接連絡することにい れている様子。 てお渡しすることも考えましたが、どうやら旦那さんが入院さ したので、例年通りご祈祷をお願いしたいということでした。 ました。体調がすぐれないということでお寺に行くことが出来 私はしばらくお札を預かっておりました。直接ご自宅を伺 ところが数年前、ご夫婦がいらっしゃらなかったことがあり 私はご自宅に伺うのもご迷惑になると思い、そ

私はてっきり祈祷したお札はお孫さんにお渡ししているものしていること自体知らなかったそうなのです。だったということもありますが、ご両親がこのようなご祈祷を事情を知った息子さんは大変驚いた様子でした。突然の電話

と思っていました。

実に懐かしそうにお話してくださいました。して自分も本堂に上がりご祈祷をしたこと、そのようなことをておられました。記憶としては提灯がいっぱいあったこと、そくと、ご自身も小さい時に両親に連れられて行ったことを覚えるこであらためて息子さんに地蔵祭りのお話をさせていただ

うな口調でこう言うのです。 梼されていることをお伝えしたところ、息子さん、つぶやくよ私は息子さんにご両親が今はお孫さんのお名前を書いてご祈

「なんだかありがたいな~」

です。そしてお孫さんもおじいちゃんおばあちゃんに会えるのをとても楽しみにしていたそうです。そしてお孫さんも出来なくなった。息子さんも仕事があったり、付き合いがあったりで忙しい。帰ったとしてもまたすぐに戻らなければならなかったりもする。今回も父親が体調を崩したというので一度かったけれど、大丈夫そうなのであまり会話をすることもなく、かったけれど、大丈夫そうなのであまり会話をすることもなく、はったけれど、大丈夫そうなのであまり会話をすることもなく、はったけれど、大丈夫そうなのであまり会話をすることもなく、はったけれど、大丈夫そうなのであまり会話をすることもない。
 でも毎年自分たちのことを思ってお参りしてくれるそうです。そしてお孫さんもおじいちゃんおばあちゃんに会えるのをとても楽しみにしていたそうです。そしてお孫さんもおじいちゃんおばあちゃんに会えていたということについては「ありがとう」と言いたい、といていたということについては「ありがとう」と言いたい、といていたというです。

という感謝の気持ちを素直に表してくれたのです。ご両親の思いをしっかりと受け止めた息子さんは「ありがとう」ご両親の存在にあらためて思いを致したそうです。そしてその息子さんは離れて暮らしていてもずっと見守ってくれていた

ておくことにしました。そして直接ご本人にお渡しすることに善結局、そのお札はお盆に息子さんが帰省するまで私が預かっ

いたしました。

「以心伝心」という言葉がございます。

「心を以て心が伝わる」ということです。

は示しているのではないでしょうか。ただし、言葉だけでは伝わらないこともあることをこの言葉た相手に意思を伝える有効な手立てでもあります。物事を進めていく上で言葉というものは非常に大切です。

がら心の中すべてを表現し、伝えることは難しいことです。言葉では目の前の現象を表現することは出来ます。しかしな

お釈迦様はこのようにお示しになっておられます。「心が伝わる」とはどういうことでしょうか。

影がそのからだから離れないようにもしも清らかな心で話したり行ったりするならば、もにも清らかな心で話したり行ったりするならば、ものごとは心にもとづき、心を主とし、

(ダンマパダ 二)

手の心に届くのです。
清らかな心、つまり「まごころ」を持って接すれば必ずや相

生きていく、そのような生き方をしていかなければならないのいるのです。だからこそ「まごころ」をもって寄り添い、共にいるのです。時には誰かの力となって寄り添い合いながら生きてを借りて、時には誰かの力となって寄り添い合いながら生きてます。 ます。 そこで、果たして自分はまわりの人に対して「まごころ」をそこで、果たして自分はまわりの人に対して「まごころ」を 6 月 3 日

◎梅花講習会

5 月 23 日

◎梅花流全国奉詠大会

) 布教師養成講座

5月17日~20日

◎梅花流講習会

5 月 12 日

5 月 13 日

))梅花流指導者養成所

◎所会監査会

6月8日

◎梅花流指導者養成所

○布教委員会・

布教協議会

5月6日

5 月 11 日

◎梅花流指導者養成所

4 月 13 日

◎寺族会総会

4 月 5 日

4 月 12 日

◎梅花流指導者養成所

◎梅花講習会

行事報告

4 月 1 日

### 宗 務 所 だ ょ

## ŋ

	į						,	:
	◎梅花	◎梅花流全県大会	大会		黒木	淳祐	12	満蔵寺
	7	7 月 26 日			畠山	晋吾	12	鷲泉寺
だより	◎通	◎通常所会(決算)	決算)		奥山	祖道	13	祥雲寺
	7 Ħ	7 月 29 日			熊谷	右忍	14	蚶満寺
					佐藤	道彦	14	光岸寺
	Z 17	P B Z		さなり順く	砂川	文佳	14	耕傳寺
◎梅花流宗務所講師等研修会	名立	名 音 音 景 名 漢		(大字に音長)	岡部	顕雄	15	龍泉寺
6月8日	布教部	마	教区	寺院名	大佐賀正信	見正信	18	実相寺
◎特派布教巡回	柴田	康裕	6	洞雲寺				
6月13日~18日	松山	純正	1	林清寺	研修部	ᅃ	教区	寺院名
◎宗務所婦人会総会	村松	玉宗	1	源正寺	高橋	一 浩	16	蔵伝寺
6月14日	高栁	龍哉	1	勝平寺	佐藤	俊明	1	白馬寺
◎梅花流指導者養成所	鈴木	慶道	1	東光寺	佐藤	秀嗣	2	陽廣寺
6 月 20 日	菅野	紀道	2	鷲林寺	伊東	義寛	4	光禅寺
◎宗務所護持会総会・研修会	小澤	孝全	2	天昌寺	藤原	晃徳	4	正眼寺
6月20日	宮本	康博	3	慈音寺	木島	宏人	5	信翁院
◎東北管区宗務所連絡協議会(山形市)	鮎川	義寛	4	珠林寺	久米	道人	5	廣澤寺
6月28日~29日	佐藤	良浩	4	清光院	二坂	佳邦	5	雲岩寺
◎梅花流講習会	富士成	富士盛敬雄	4	永傅寺	藤谷	俊晃	5	祥雲寺
7月1日	戸澤	広悦	6	長泉寺	安孫子	賢太	8	東陽寺
◎布教部第1回仏教講座	佐々士	木耕志	7	福城寺	伊藤	昭人	8	龍巖寺
(秋田市なかいち)	佐々士	佐々木賢慈	7	満勝寺	伊藤	湖峰	8	奠蔵院
7月2日	堀井	英和	8	満福寺	山谷	尚智	8	龍像院
◎梅花流指導者養成所	木村	高寿	9	梅林寺	奥山	真行	10	源昌寺
7月4日	渡辺	英心	9	松庵寺	佐々木雅也	<b>小雅也</b>	11	曹源院
◎梅花流指導者養成所	山田	卓爾	9	倫勝寺	小嶋	良晃	13	洞泉寺
7月5日	栗谷	大三	10	福厳寺	楢岡	英	14	高昌寺
◎東北管区婦人会研修会(青森市)	奥山	一英	10	福寿寺	山中	尚幸	14	禅林寺
7月5日~6日	菅原	芳徳	11	圓通寺	渡会	泰明	14	快禅寺
◎研修部研修会	吉田	順一	11	長福寺	赤石	基彦	15	久昌寺
7 月 6 日	岩舘	裕章	11	恩徳寺	田口	真穂	15	東光寺

佐藤	佐藤	山中	郡	三浦	本間	伊藤	清水	亀谷	柳川	村松	鈴木	遠藤	森澤	伊藤	田口	柿崎	嶋森	本間	近藤	柴田	佐藤	浅田	梅 花 部	水野	加藤	浅原	戸部	國安
宗明	俊晃	律雄	亮善	賢翁	雅憲	泰裕	道広	隆道	一童	良周	泰賢	隆幸	宜彰	道人	眞山	隆穏	裕憲	俊英	俊彦	和明	晃心	高 明	마	聡哉	秀範	拓磨	文雄	格道
18	18	14	13	13	12	11	10	10	9	9	9	8	8	7	7	5	5	4	3	2	2	4	教区	18	17	17	16	16
全應寺	龍泉寺	禅林寺	観音寺	大龍寺	普門院	圓福寺	正法院	太平寺	玉鳳院	正傳寺	清徳寺	東光院	東源寺	太寧寺	常泉寺	東山寺	霊仙院	恵林寺	圓通寺	東泉寺	乗江院	長谷寺	寺院名	立昌寺	福昌寺	祗薗寺	永蔵寺	重福寺

### 第 回布教師養成講座

禅センターにて、宗務所主催第一回、平成28年5月23日(月)宗務所・ 努力をいただいている。 講座になるようにご講師の皆様にご 講座も4年目を迎え、より充実した 布教師養成講座が開催された。この

みが改めて評価されていた。 総評として、受講生の真剣な取り組 と佐藤良浩師が実演をおこなった。 おこなった。10分法話は栗谷大三師 方々に10分法話と5分法話の実演を のご講演をいただき、午後は12名の をお願いした。当日は、 林洞寺御住職・倉田豊彰老師に講師 この度も、昨年に引き続き富山県 午前に講師



講師 倉田老師



聞き入る聴衆

### 寺院実務研修

の本葬日程に誤りがありまし

先号に掲載の15教区妙音寺様

第

回仏教講座

禅センターにて、 平成28年7月6日(水)宗務所・ 研修部主催の寺院

行われました。

んでお詫び申し上げます。

正しくは6月10

日

11

日

平成28年7月2日(土)にぎわい

※23ページにアンケートを掲載 以外での開催も好評を得た。 加者のアンケートによると、 み盛況のうちに終えた。その後の参 法話を40分、 行った。その後、 梅花流詠讃歌の奉詠と参加者も一緒 方々も多く思いのほか盛況となっ る参加となり、初めて参加された となった。当日は参加者50名をこえ 所・禅センター以外の場所での開催 回は初めての取り組みとして、 部主催の仏教講座が開催された。 にお唱えが出来るよう簡単な指導も た。まず、梅花部とのコラボとして 交流館「なかいち」4階にて、 仏教マメ知識20分と進 禅語解説を20分、 宗務 布教 今



説について研鑽を深めた。 時代の法相宗の学僧・良遍が母親に 横手市洞雲寺住職・柴田康裕老師を 巻抄』を読み進めながら、 宛てて書いた手紙とされる『法相二 法相二巻抄に学ぶ―」と題し、 お迎えし、 実務研修が開催された。講師として 「続々 自己に向きあう― 柴田老師 講師 唯識の教 鎌倉

### 宗務所からのお知らせ

### 「禅をきく会」について



日時 平成 28 年 11 月 16 日 (水) 午後1時受付 1時半開演

場所 秋田キャッスルホテル

沙子選手等の金メダルも吉田選手にあこがれて

「彼女のように成りた 同63キロ級の川井梨

い」とのあつい思いが結びついた結果であろう。

級の登坂絵莉選手、

同69キロ級の土性沙羅選手、

手等の功績は非常に大きいと思う。

彼女を慕うフリースタイル

48 キ ロ

ング女子フリースタイル53キロ級で銀メダルを獲得した吉田沙保里選

べ選手のすぐ身近にメダリストがいることではないかと思う。

自分なりに、メダル数が増えた原因を考えてみた。

それ

レスリ

言ったような前向きな表現が多く聞かれた。

そして、競技後のインタビューでも、

「とても楽しかったです。」

講師 恐山院代・福井県霊泉寺住職 直哉老師 南 演題「魂のゆくえ」

対象は一般です。(檀信徒の皆様もお誘い下さい。)

著書『賭ける仏教 出家の本懐を問う6つの対話』(春秋社、2011年7月) 『恐山 死者のいる場所』(新潮新書、2012年4月) 『善の根拠』(講談社現代新書、2014年 12月)

> 集 後 記

『刺さる言葉「恐山あれこれ日記抄」」(筑摩書房、2015年5月)

て、 だけではないだろう。 のだ」といただいた。 た方々だから尊い」「ブッダに憧れてブッダに成るべき途上の存在な の講演があった。 八月のお盆の疲れもとれない時期の開催ではあったが、 昨年から何度かおいでいただいた、 禅センター三部会の研修を兼ねた「布教師養成講座」 その中で その言葉に、 「皆さんは過去世においてブッダに出会っ 仏教徒である意味を感じたのは私 花園大学教授、 佐々木閑先生 の講師とし 県布教師

(昭道記)

とと毎年恒例、 察の通り 今年の夏は、 「リオデジャネイロオリンピック」から目が離せなかったこ 思い 甲子園での のほ か寝不足の日々が 「高校野球」とスポーツ観戦好きの身とし ス続い た。 その原因は、

四十一個を獲得したのだ。競技を通じて感じたのは、

特に、オリンピックでは日本にとって今までで最多のメダル

ては、嬉しくて辛い毎日が続いたのであった。

獲得した選手が目についたことである。

一昔前なら、

日本人選手を表 逆転でメダルを

現することばに「本番に弱い」「精神面に弱さを感じる」等と言わ

てきたように思う。

### 平成28年度 梅花流全国奉詠大会

於:富山市総合体育館 平成28年5月18日





### 平成28年度 梅花流秋田県奉詠大会

於:秋田県民会館 平成28年7月12日



### 年間行事予定

### 平成28年度(2016)



### 平成29年度(2017)

友引

管区

宗務所



宗務庁

県内寺院